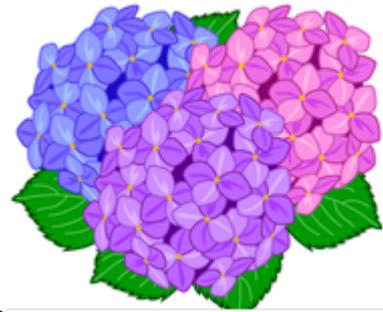


施設長あいさつ

しとしとと降る雨に紫陽花（あじさい）の花が  
ますます美しく見える今日このごろでございますが、  
皆様はいかがお過ごしでしょうか。



生活の中では、煩わしい雨も農作物にとってみれば、恵の雨となっております。この時期の雨と強い日差しが農作物を豊かに成長させると思えば、この蒸し暑い季節も乗り切れるのではないのでしょうか？

さて、これから本格的な夏を迎えるにあたり、ファミリーマイホームにおいても、例年は夏祭りを7月の中旬に、8月には左入町会のお神輿の御旅所の一躍を担うこととなっておりますが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から両イベントともに中止となってしまいました。9月の敬老会は、利用者様の安全を確保しつつ、例年通りまでとはいかないものの何とかイベントを開催させていただくよう検討を行っております。

本来であればこの時期は、ご家族様や地域の皆様にファミリーマイホームにお越しいただき、利用者様やボランティアの皆様、職員との交流を深めていただく絶好の機会なのです。近隣の町内会や老人会、学校などとの地域の皆様との連携を強化し、「ファミリーマイホームがこの地域にあって良かった」とおっ

しゃっていただけるような施設運営にまい進していくために、このような状況下においても、防災などの観点などから地域貢献ができるよう努力してまいります。

また、このような状況下において、ご家族様からは様々な形でご厚意を賜り、この場をお借りして、改めて厚く御礼申し上げます。

下部の絵は、妖怪「アマビエ」です。以前入所された利用者様ご家族が、イラストを作成してくださり、届けてくださいました。

この「アマビエ」は、疫病を鎮めるとされる半人半魚の妖怪です。「ゲゲゲの鬼太郎」など妖怪漫画の第一人者で、妖怪研究家として知られた水木しげるさん（一九二二～二〇一五年）も三十五年以上前の昭和時代に描いております。水木さんが「アマビエ」を描く際に参考にしたのは、京都大学附属図書館が所蔵する江戸時代後期の瓦版だったとされています。

弘化三（一八四六）年、肥後国（現在の熊本県）の海中に毎夜光る物が出現し、役人が現地へ赴くと、アマビエが姿を現した。「当年より六カ年の間、諸国は豊作だが、病も流行する。その時には私の写しを早々人々に見せよ」。そんな予言を残して海中に入ったーと瓦版は伝えていた。

新型コロナウイルスの感染予防に効果があるかはさておき、ファミリーマイホームの利用者様、そして職員のために、このような形でお心遣いをいただくことに、深く感謝しております。

今後も、感染症の予防に努め、利用者様の生活を第一に考えて、施設運営を行ってまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

施設長 田代 航也

